

数日、数人、数個など、「数」で始まるあいまいな数の表現がありますが、皆さんはどの意味で使っているでしょうか。子どもの頃に数人とは何人のことか母親に尋ねたところ、数人とは5～6人のことで、それより少ないときは2～3人と言って区別するのだと教えられ、以来そう信じてきました。ところが20年ほど前でしょうか、患者さんにどのくらいで治りますかと聞かれ、数日でよくなります、と答えたところ、患者さんは2～3日の意味だと理解していたことがわかりびっくりしました。子どもの頃から信じていた長年の常識がひっくり返り、これは気をつけないといけないと感じました。

数日、数人の「数（すう）」が具体的にどの数を示すのかについて、言語学の分野などで詳しく論じた論文があるのかもしれませんが、門外漢にとってそのような人文系の文献を当てるのは少々困難です。そこで手軽なネット検索を試みたところ、NHKが行った「ことばのゆれ全国調査」についてのレポートを見つけました（山下洋子、宮本克美：短くなる「数日」、放送研究と調査、53：84-101、2003）。2002年に20歳以上の男女1,374人にアンケート調査を行い、そこで得られたデータを以下のように報告しています。

・「数人」について尋ねたところ、20歳代から50歳代では「2～3人」と「3～4人」が多かったが、60歳以上では「4～5人」ないし「5～6人」と答える人が多かった。

・「数日」については、1996年の調査では年齢が高くなるほど期間が長くなる傾向があり、年代が若くなるほど「2～3日」が多かった。2002年の調査では全年代で「2～3日」が最多となったが、それでも60歳以上は他の年代に比べて「4～5日」「5～6日」の割合が多かった。

以上ざっくりまとめると、「数人」は若い人は「2～4人」と考え、高齢者は「4～6人」と考える人が多いことになります。「数日」についても高齢者ほど長い傾向が明らかですが、最近はその差が少なくなり、今は全年代で「2～3日」が最多になっています。このように数人と数日で差が出る理由はわかりませんが、空間に存在する物体の数と時間単位の数という違いによるものかもしれません。「数個」については調査されていませんが、「数人」と同じ結果になるように思います。

私は母親に教わった古い考えで理解していたため、「数〇」の「数」を5～6と思っていたのですが、知らないうちに時代遅れとなり、いまや少数派になってしまったようです。人により受け取り方が違うことがわかりましたので、これからは「数〇」は使わないようにしようと思っています。

一般の会話でも誤解を招きやすく、ましてや正確さが要求される医学論文では決して使ってはならない表現でしょう。「数日後に」「数カ所に認めた」などつい書いてしまいがちですが、禁句と考えるべきです。

（相馬良直）

— 顧 問 —

大原國章 大塚藤男

— 編集委員 —

土田哲也 五十嵐敦之 相馬良直 林 伸和 佐伯秀久

「皮膚科の臨床」第63巻 第9号 8月号

2021年8月1日発行（毎月1回1日発行）

定価 3,080 円（本体 2,800 円＋税 10%）

年間購読料金

定価 47,630 円（本体 43,300 円＋税 10%）

〔年間13冊（臨時増刊号、増大号を含む）の誌代〕

〔年間予約購読者に限り送料無料〕

発行所 金原出版株式会社

発行者 福村 直樹

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14

TEL 03(3811) 7165 [編集室直通]

TEL 03(3811) 7184 [営業部直通]

FAX 03(3813) 0288

ホームページ <http://www.kanehara-shuppan.co.jp>

振替口座 00130-1-191269

印刷所 三報社印刷株式会社 TEL 03(3637)0005

広告申込先 福田商店 TEL 06(6941)5600

- ・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著作者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

・JCOPY＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（TEL：03-5244-5088、FAX：03-5244-5089、E-mail：info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。